

《担当者名》 巻 康弘 maki@hoku-iryo-u.ac.jp ○片山 寛信 志水 幸 大友 芳恵 福間 麻紀 宮本 雅央
近藤 尚也
(主担当者、○副担当者)

【概要】

23日以上かつ180時間以上、社会福祉施設・機関等に配属されて行われるソーシャルワーク実習を効果的に進めるため、北海道ブロックの「実習教育・指導に関する指針」に基づき、事前教育、訪問指導、事後教育の各段階に分けて実施される。実習指導は全体指導とグループ指導の形態で展開される。

【学修目標】

ソーシャルワーク実習は、日本ソーシャルワーク学校連盟北海道ブロック統一の実習評価表に基づき、次のような学習目標が設定される。

- 基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係形成能力を育てる
- 利用者理解とそのニーズ把握及び支援計画の作成能力を育てる
- 利用者やその関係者（家族・親族、友人等）との援助関係の調整能力を育てる
- 利用者やその関係者（家族・親族、友人等）への権利擁護および支援（エンパワメントを含む）とその評価をする能力を育てる
- 他職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチに関わる能力を育てる
- 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営に関わる能力を育てる
- アウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発の能力を育てる
- 職業倫理、施設、事業者、団体等の職員の就業などに関する規定理解と組織の一員としての役割と責任を遂行する能力を育てる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ソーシャルワーク実習の意義と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・SW実習・実習指導の位置付けと概要が説明できる。 ・年間計画・評価方法を説明することができる。 ・実習前評価システムを説明することができる。 編入生には、事前にオリエンテーションを行う。 	巻、大友、福間、宮本、近藤
2	実習契約と実習評価	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道ブロックにおける実習システムが説明できる。 ・実習三者・四者関係が説明できる。 ・臨床参加型実習とは何かが説明できる。 ・実習委託契約書と指導に関する合意書、実習教育・指導に関する指針の位置づけと内容が説明できる。 ・実習契約における実習生の権利と義務が説明できる。 ・実習評価表と指導上のポイントの要点を説明できる。 	巻、宮本、近藤
3	実習コンピテンスとCBT(知識試験)の目的と評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習コンピテンス習得の意義が説明できる。 ・実習コンピテンス・アセスメントと自己学習計画書の記載方法を説明できる。 ・CBT(知識試験)の評価方法が説明できる。 ・実習3段階モデル(職場・職種・SW理解)が説明できる。 ・実習計画書の記載方法が説明できる。 ・本学「社会福祉実習感染対策指針」を読み、必要な相談ができる。 	近藤、宮本、巻
4	社会福祉士OSCE(客観的臨床能力試験)の目的と評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士OSCE(客観的臨床能力試験)について説明できる。 ・OSCEの概要が説明できる。 ・OSCEスケジュールが説明できる。 ・試験項目(インテーク面接)の説明ができる。 	巻、福間、近藤、宮本
5	社会福祉士OSCE(客観的臨床能力試験)の目的と評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士OSCE(客観的臨床能力試験)について説明できる。 	巻、福間、近藤、宮本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<ul style="list-style-type: none"> ・試験項目（アセスメント報告）の説明ができる。 ・試験項目（実習日誌記載・提出）の説明ができる。 ・実習日誌の様式と書き方が説明できる。 ・プロセスレコードの記入方法が説明できる。 	
6	グループ学習オリエンテーションと実習計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・実習グループの進め方が説明できる。 ・実習評価表と指導上のポイントを説明できる。 ・実習計画書（初回版）をもとに自らの問題意識と実習課題(案)が説明できる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
7	分野特性を踏まえたソーシャルワーク理解	<ul style="list-style-type: none"> ・文献や事前訪問等により分野特性を踏まえたソーシャルワーク特性について説明できる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
8	地域特性の把握とソーシャルワーク機能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性の把握方法が説明できる。 ・レジデンシャルソーシャルワーク9機能が説明できる。 	近藤、宮本
9	分野特性を踏まえたソーシャルワーク理解	<ul style="list-style-type: none"> ・文献や事前訪問等により分野特性を踏まえたソーシャルワーク特性について説明できる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
10	分野特性を踏まえたソーシャルワーク理解	<ul style="list-style-type: none"> ・文献や事前訪問等により分野特性を踏まえたソーシャルワーク特性について説明できる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
11	社会福祉士OSCE（客観的臨床能力試験）（講目～講目）	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士OSCE（客観的臨床能力試験）。 ・インテーク面接ができる。 ・実習日誌を適切に記載することができる。 ・今年度は「アセスメント報告」は、演習で行う。 	大友、巻、福間、宮本、近藤、片山
12	実習計画書指導	<ul style="list-style-type: none"> ・実習計画書をもとに、実習における実習行動計画を説明できる。 ・実習計画書をもとにした実習スーパービジョンに取り組むことができる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
13	CBT（知識試験）	<ul style="list-style-type: none"> ・CBT（知識試験）50問～100問、アンケート。 ・実習に必要な知識が解答することができる。 	近藤、宮本、片山
14	知識・技能の習得状態の確認（OSCE・CBT結果発表）	<ul style="list-style-type: none"> ・OSCEとCBTの結果（ペーパー等で返却）が確認できる。 ・OSCEのDVD視聴を通じ、今後の達成課題を具体化できる。 ・ソーシャルワーク実習担当者会議の留意事項が説明できる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
15	実習計画書指導	<ul style="list-style-type: none"> ・実習計画書を基に、実習課題を説明できる。 ・実習計画書をもとにした実習スーパービジョンに取り組むことができる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
16	社会福祉士OSCE（予備日）	<ul style="list-style-type: none"> ・インテーク面接ができる。 ・実習日誌を適切に記載することができる。 ・OSCE不合格者、未受験者の追・再試験。 	巻、大友、福間、宮本、近藤、片山
17	実習計画書指導	<ul style="list-style-type: none"> ・実習計画書を基に、実習課題を説明できる。 ・実習計画書をもとにした実習スーパービジョンに取り組むことができる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
18	CBT（予備日）	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な知識が解答することができる。CBT（知識試験）50問～100問、アンケート。 ・不合格者、未受験者の再試験 	近藤、宮本、片山
19	ソーシャルワーク実習担当者会議全体会（第1部）	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク専門職である社会福祉士の実習教育をめぐる動向が説明できる。 ・実習における留意事項・保険などの説明ができる。 ・実習中の健康管理と感染対策指針が説明できる。 ・社会福祉士OSCE・CBT実施内容が説明できる。等 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
20	ソーシャルワーク実習担当者会議個別指導（第2部）	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ毎 <ul style="list-style-type: none"> ・教員による学生の事前教育状況の説明(グループ毎)。 ○実習施設・機関毎 <ul style="list-style-type: none"> ・実習スーパービジョンを実習指導者で行うことができる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<ul style="list-style-type: none"> ・実習における留意事項・保険、感染対策指針が説明できる。 ・社会福祉士OSCE・CBTの到達状態と自己課題を説明できる。 ・実習計画書を実習指導者に説明できる。アンケート、等 	
21	分野特性を踏まえたソーシャルワーク理解	<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導者とのスーパービジョン内容を説明できる。 ・文献や事前訪問等により分野特性を踏まえたソーシャルワークについて説明ができる。 ・スーパーバイザーとして必要な対応ができる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
22	事例研究(個別援助の理解・地域福祉支援研究)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習で取り組む事例研究(個別援助、地域福祉研究)の方法が説明できる。 ・実習における援助展開の試行・実施経験と事例研究の関連性を説明できる。 ・夏季期間における健康管理と感染対策が説明できる。 	福間、大友、宮本、片山
23	実習における事例研究(個別援助の理解・地域福祉支援研究)の展開方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習計画における事例研究の実施方法を説明できる。 ・実習施設における事例研究の展開例が説明できる。 <実習期間9/12 - 10/21以外の学生(グループ)> ・担当教員と最終確認(留意事項、連絡先、保険等)。 ・出勤簿・訪問指導記録の持つ意味と提出方法が説明できる。 ・実習先礼状送付の必要性和タイミングを説明できる。 ・訪問指導(帰校日指導)スケジュールを確認できる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
	事前訪問	<p>実習施設を直接訪問することで、新たな問題意識の醸成、実習計画書の(再)指導、実習プログラムや必要な打合せ等を行い本実習に備える。 (夏期休業中に、実習施設の事前訪問を必須とする)</p>	
24	専門職倫理と感染対策	<ul style="list-style-type: none"> ・後期の授業計画が説明できる。 ・専門職倫理と社会福祉士倫理綱領の要点が説明できる。 ・実習時の留意事項、連絡先、保険等の要点を説明できる。 ・実習中の健康管理と感染対策指針が説明できる。 ・訪問指導の記録、出勤簿等の様式・提出方法が説明できる。 ・実習報告会運営体制(委員選出)を検討できる。 	大友、巻、福間、宮本、近藤、片山
25	事前訪問の報告と実習評価上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・事前訪問の実施状況を報告することができる。 ・実習中の訪問・帰校日スケジュールが説明できる。 ・実習評価上のポイントをもとに、実習評価項目に対する実施方法が説明できる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
26	実習前スーパービジョンと実習日誌	<ul style="list-style-type: none"> ・実習コンピテンスアセスメントと実習計画書をもとに実習課題をグループ学生と共有できる。 ・実習日誌(OSCE時記載)を、より適切に記載することができる。 ・実習終了後のお礼状のタイミングと方法が説明できる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
		<p>ソーシャルワーク実習開始(9月12日～10月21日迄) 実習期間：23日間以上・180時間以上 教員の訪問指導は週1回の予定(訪問指導及び帰校日指導の形態で実施) 一部の实習施設・機関は日程の変更有り</p>	
27	教員の訪問指導	学生、実習指導者、担当教員の实習関係三者による面	大友、志水幸、巻、福

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
30	(学生の帰校日)	接及び実習指導)。(学内の実習指導)。	間、宮本、近藤、片山
31	実習事後オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・実習後の授業予定が説明できる。 ・実習後アンケートを提出できる。 ・実習成果を他の学生に伝えることができる。 ・自己チェックリストを加えた実習報告書の記載形式・内容を説明できる。 ・実習報告会の運営等について説明できる。 	大友、巻、福間、宮本、近藤、片山
32	実習成果と課題の共有と検討	<ul style="list-style-type: none"> ・実習経験(ディレンマ体験含む)を振り返り、成果と課題が説明できる。 ・実習機関への提出物・礼状の発送状況の報告ができる。 ・実習報告会準備・実習報告書指導スケジュールを説明できる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
33	実習成果と課題の共有と検討	<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究(個別援助の理解・地域支援の理解)の考察等をもとにしたグループ検討を行うことができる。 ・実習報告書の作成指導、等。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
34	実習成果と課題の共有と検討	<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究(個別援助の理解・地域支援の理解)の考察等をもとにしたグループ検討を行うことができる。 ・実習報告書の作成指導、等。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
35	実習成果と課題の共有とプレゼンテーション準備	<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究(個別援助の理解・地域支援の理解)の考察等をもとにしたグループ検討を行うことができる。 ・実習成果と課題の共有とプレゼンテーション準備を行うことができる。(実習報告会の準備)等。 ・実習報告書の作成指導、等。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
36	実習成果と課題の共有とプレゼンテーション準備	<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究(個別援助の理解・地域支援の理解)の考察等をもとにしたグループ検討を行うことができる。 ・実習成果と課題の共有とプレゼンテーション準備を行うことができる。(実習報告会の準備)等。 ・実習報告書の作成指導、等。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
37	実習報告書の作成指導	<ul style="list-style-type: none"> ・実習報告書(自己チェックリスト含む)をもとに、自らの実習の成果と課題をプレゼンテーションすることができる 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
38	実習体験の後輩学生への説明(2・3年生合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク実習 に向かう学生に適切な助言ができる。 ・実習施設の地域特性や分野特性が説明できる。 ・実習課題(行動目標)の達成方法としての実習体験が説明できる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
39	2022年度ソーシャルワーク実習報告会(全体会)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習体験とグループとしての考察をプレゼンテーションできる。 ・質問者との対話を行うことができる。 ・他のグループの発表に対し適切な質問を行い、自らの考えを述べることができる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
40	2022年度ソーシャルワーク実習報告会(意見交換会)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習報告会参加者との意見交換を深めることができる。 	志水幸、大友、巻、福間、宮本、近藤、片山
41	実習報告書の作成指導	<ul style="list-style-type: none"> ・実習報告会・意見交換会を通じた新たな気づきや課題を説明ができる。 ・実習指導者の実習評価を基にした省察ができる。 ・新たな気づきや省察を踏まえ実習報告書を記述することができる。等 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
42	実習報告書の作成指導	<ul style="list-style-type: none"> ・実習成果と課題を実習報告書(自己チェックリスト含む)に、記述することができる。 ・実習日誌・出勤簿・学生用訪問指導記録を担当教員に示し、確認を得ることができる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
43	実習報告書の作成指導	<ul style="list-style-type: none"> ・実習評価項目(全項目)に対する自己評価の総括を行い、実習報告書に記述することができる。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<ul style="list-style-type: none"> ・実習自己チェックリストを記述することができる。 ・実習報告書の教員からの最終チェックを受けることができる。 	
44	グループ学習を通じた成果と課題の共有	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間のソーシャルワーク実習を踏まえ、グループ学習を通じた成果と課題を述べることができる。 ・実習報告書(自己チェックリスト含む)を実習施設・機関に郵送することができる、等。 	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山
45	ソーシャルワーク実習指導のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士資格を有するソーシャルワーカーにとって必要となる人権感覚と実践力について、自らの考えを述べるができる。 ・4年生の各専門実習、国家試験に向けた取り組みが説明できる。 ・教員からのメッセージを受け取ることができる。 実習報告書の提出状況によっては、追加課題の指示。 実習日誌、学生用訪問指導記録返却。 北海道ブロックのアンケート。授業評価アンケート。	大友、志水幸、巻、福間、宮本、近藤、片山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

○ソーシャルワーク実習とソーシャルワーク実習指導は連動科目のため成績評価も原則連動する。（実習評価「1」だが実習指導の評価基準を満たす場合除く）。例）「実習報告書」が未提出の場合は、SW実習の評価は不可。など

1. ソーシャルワーク実習指導評価

(ア)グループ参加態度 10点

(イ) OSCE・CBT評価 計50点

OSCE 30点

CBT 20点

(ウ)記録物(すべての記録物が提出されていない場合は0点とする)40点

実習計画書(2回分)

実習コンピテンス・アセスメントと自己学習計画書(3回分)

訪問・帰校日指導記録(4回分)

実習報告書(紙面・データ)

全体講義及びグループ指導欠席時に担当教員から指示する課題(出席扱いとするものではない)

2. ソーシャルワーク実習前評価

次の(ア)～(ウ)のすべての項目を満たした場合に実習配属とする。

(ア)出席状況(実習打ち合わせ会の前々週末までの出席状況の評価)

全体指導 ○回の7割以上の出席

グループ指導 ○回の7割以上の出席

(イ) OSCE・CBT

OSCE:合格基準 6割以上

CBT:合格基準 6割以上

(ウ)期間内提出を指示された下記すべての記録物・課題の提出。

実習計画書(第一版)

実習コンピテンス・アセスメントと自己学習計画書

欠席時課題

その他指示された課題

基準を満たすことが困難な場合は、実習配属中止とする。

【教科書】

『2022年度版 社会福祉実習要綱』北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科。

『2022年度版 社会福祉実習の手引き～分野別実習プログラムの実際～』北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科。

『実習コンピテンス・アセスメント』日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック

【参考書】

必要に応じて提示する。

【備考】

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「相談援助実習指導」に該当する。教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）」に該当する。

【学修の準備】

今回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、3

【実務経験】

巻 康弘（社会福祉士）、大友 芳恵（社会福祉士）、福間 麻紀（社会福祉士）、宮本 雅央（社会福祉士・精神保健福祉士）、近藤 尚也（社会福祉士）、片山 寛信（社会福祉士）。

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉施設・機関、医療機関でのソーシャルワーカー・社会福祉士等としての、実践経験を通じて得た、価値・知識・技術・態度などを活用し、実践的な教育を行う。